



Handwritten text in cursive script, likely a signature or name, located at the top right of the page.

Handwritten text in cursive script, possibly a date or a short note.

Handwritten text in cursive script, possibly a name or a signature.

Handwritten text in cursive script, possibly a name or a signature.

Handwritten text in cursive script, possibly a name or a signature.

Handwritten text in cursive script, possibly a name or a signature.

Handwritten text in cursive script, possibly a name or a signature.

Handwritten text in cursive script, possibly a name or a signature.

Handwritten text in cursive script, possibly a name or a signature.

Handwritten text in cursive script, possibly a name or a signature.

Handwritten text in cursive script, possibly a name or a signature.

Handwritten text in cursive script, possibly a name or a signature.

Handwritten text in cursive script, possibly a name or a signature.

Handwritten text in cursive script, possibly a name or a signature.

Handwritten text in cursive script, possibly a name or a signature.

Handwritten text in cursive script, possibly a name or a signature.

Handwritten text in cursive script, possibly a name or a signature.

Handwritten text in cursive script, possibly a name or a signature.

Handwritten text in cursive script, possibly a name or a signature.

Handwritten text in cursive script, possibly a name or a signature.

三日廿九

丁巳年

三
代

南
代

南
代

南
代

10

南
代

南
代

南
代

南
代

南
代

南
代

南
代

南
代

南
代

南
代

南
代

此後世世三十三日 諸君之健康 幸甚幸甚

清國之 行政 亦皆 種種 經濟 亦皆 種種 行政 亦皆 種種

行政 亦皆 種種 經濟 亦皆 種種 行政 亦皆 種種

行政 亦皆 種種 經濟 亦皆 種種 行政 亦皆 種種

行政 亦皆 種種 經濟 亦皆 種種 行政 亦皆 種種

行政 亦皆 種種 經濟 亦皆 種種 行政 亦皆 種種

行政 亦皆 種種 經濟 亦皆 種種 行政 亦皆 種種

行政 亦皆 種種 經濟 亦皆 種種 行政 亦皆 種種

行政 亦皆 種種 經濟 亦皆 種種 行政 亦皆 種種

一 行政 亦皆 種種 經濟 亦皆 種種 行政 亦皆 種種

行政 亦皆 種種 經濟 亦皆 種種 行政 亦皆 種種

行政 亦皆 種種 經濟 亦皆 種種 行政 亦皆 種種

行政 亦皆 種種 經濟 亦皆 種種 行政 亦皆 種種

行政 亦皆 種種 經濟 亦皆 種種 行政 亦皆 種種

行政 亦皆 種種 經濟 亦皆 種種 行政 亦皆 種種

東三

大正

清國

1. 1911年

1. 1911年 1月 1日 1911年 1月 1日

1. 1911年 1月 1日 1911年 1月 1日

1. 1911年

1. 1911年

1. 1911年

1. 1911年 1月 1日 1911年 1月 1日

1. 1911年 1月 1日 1911年 1月 1日

1. 1911年 1月 1日 1911年 1月 1日

1. 1911年 1月 1日 1911年 1月 1日

1. 1911年 1月 1日 1911年 1月 1日

1. 1911年 1月 1日 1911年 1月 1日

1. 1911年 1月 1日 1911年 1月 1日

1. 1911年 1月 1日 1911年 1月 1日

1. 1911年 1月 1日 1911年 1月 1日

1. 1911年

1. 1911年 1月 1日 1911年 1月 1日

1. 1911年 1月 1日 1911年 1月 1日

石印... 自... 會... 秋... 信... 志... 方... 在... 約... 付... 也

一 津... 中... 之... 主... 之... 又... 且... 川... 古... 處... 之... 處... 亦... 甚... 矣

石... 道... 實... 係... 在... 自... 年... 既... 已... 出... 題... 也... 矣

未
已
月

大
正
十
年

市
代
官
所

市
代
官
所
人
之
委
任
任
務
之
身

一 市
代
官
所
之
任
務
之
身
之
委
任
任
務
之
身
之
委
任
任
務
之
身

一 市
代
官
所
之
任
務
之
身
之
委
任
任
務
之
身
之
委
任
任
務
之
身

一 市
代
官
所
之
任
務
之
身
之
委
任
任
務
之
身
之
委
任
任
務
之
身

右之通 可産仕村之町之別荘仕別荘以上之戸下右
上酒類之價之月申其取上之由集上酒類仕段

一 六月

六月

大正七年

清代官所

白川津股村 米取地村 塩取地村

右様之調子 仕付之由申上之調子

七月

一 仕段

一 仕段 清代官所仕段

清代官所仕段 仕付之由申上之調子

不仕仕下之由申上

清代官所仕段 仕付之由申上之調子

仕付之由申上之調子

清代官所仕段 仕付之由申上之調子

仕付之由申上之調子

仕付之由申上之調子

世に... 中村... 流...
 先... 中... 村... 信...
 本... 業... 信...
 報... 中... 信...
 則... 信... 信...

一 國... 信...

一 信... 信...

一 信... 信...

一 信... 信...

信... 信...

信... 信...

信... 信...

信... 信...

信... 信...

信... 信...

一 信... 信...

信... 信...

信... 信...

一 信... 信...

信... 信...

信... 信...

一 信... 信...

信... 信...

信... 信...

一 信... 信...

信... 信...

信... 信...

一 信... 信...

信... 信...

信... 信...

一 信... 信...

信... 信...

信... 信...

一

右の通り通し給ふべき事なれば、
殺す村の由、何れも不詳に、
右の通り通し給ふべき事なれば、

筆書付て候上

一 津川橋

幸為

一 網

北 朝

右の通り通し給ふべき事なれば、
津川橋の事、
津川橋の事、
津川橋の事、

津川橋の事、
津川橋の事、
津川橋の事、

末
七 日

方 在 候 上

一 津川橋

右の通り通し給ふべき事なれば、
津川橋の事、
津川橋の事、

意名 大殿様清江源頼朝公建徳公大沼清江源頼朝
公俊公国俊公国光公国朝公国隆公国光公国光公国光
清江源公甲賀守中右衛門尉

楊山清江源公俊公国朝公国隆公国光公国光公国光
公俊公国朝公国隆公国光公国光公国光
公俊公国朝公国隆公国光公国光公国光

好公木の杉清江源公俊公国朝公国隆公国光公国光公国光

人三忘山清江源公俊公国朝公国隆公国光公国光公国光

多者公国朝公国隆公国光公国光公国光
公俊公国朝公国隆公国光公国光公国光
公俊公国朝公国隆公国光公国光公国光

公俊公国朝公国隆公国光公国光公国光
公俊公国朝公国隆公国光公国光公国光
公俊公国朝公国隆公国光公国光公国光

右之海源公俊公国朝公国隆公国光公国光公国光

公俊公国朝公国隆公国光公国光公国光

Handwritten text in a cursive script, likely a letter or document, written on a page with a vertical margin line on the right. The text is arranged in approximately 15 horizontal lines, starting from the top left and moving downwards. The script is dense and fluid, characteristic of a personal or official correspondence. The lines are separated by small gaps, and the overall appearance is that of a continuous flow of writing. The right side of the page is bordered by a thick, dark vertical line, possibly a page edge or a binding reinforcement.

一 此項之書，其內容之豐富，實非他書所能及也。其內容之豐富，實非他書所能及也。

一 此項之書，其內容之豐富，實非他書所能及也。其內容之豐富，實非他書所能及也。

一 此項之書，其內容之豐富，實非他書所能及也。其內容之豐富，實非他書所能及也。

一 此項之書，其內容之豐富，實非他書所能及也。其內容之豐富，實非他書所能及也。

一 此項之書，其內容之豐富，實非他書所能及也。其內容之豐富，實非他書所能及也。

一 此項之書，其內容之豐富，實非他書所能及也。

一 此項之書，其內容之豐富，實非他書所能及也。

一 此項之書，其內容之豐富，實非他書所能及也。

一 此項之書，其內容之豐富，實非他書所能及也。

一 此項之書，其內容之豐富，實非他書所能及也。

利解一... 山崎...

山崎...

津城附三郡村

渡

古村... 津...

津... 津...

津...

津...

津...

津...

津...

津...

津...

津...

津...

津...

津...

津...

津...

感不引後為

大守様 行代三又の御以

清見代三又の御以

清見代三又の御以

清見代三又の御以

清見代三又の御以

清見代三又の御以

清見代三又の御以

清見代三又の御以

清見代三又の御以

清見代三又の御以

清見代三又の御以

清見代三又の御以

清見代三又の御以

清見代三又の御以

清見代三又の御以

清見代三又の御以

清見代三又の御以

清見代三又の御以

清見代三又の御以

1. 1870年11月1日
 2. 1870年11月1日
 3. 1870年11月1日

1. 1870年11月1日
 2. 1870年11月1日
 3. 1870年11月1日

1. 1870年11月1日
 2. 1870年11月1日
 3. 1870年11月1日

1. 1870年11月1日
 2. 1870年11月1日
 3. 1870年11月1日

1. 1870年11月1日
 2. 1870年11月1日
 3. 1870年11月1日

1. 1871年10月1日
 2. 1871年10月1日
 3. 1871年10月1日
 4. 1871年10月1日
 5. 1871年10月1日
 6. 1871年10月1日
 7. 1871年10月1日
 8. 1871年10月1日
 9. 1871年10月1日
 10. 1871年10月1日

1. 1871年10月1日
 2. 1871年10月1日
 3. 1871年10月1日
 4. 1871年10月1日
 5. 1871年10月1日
 6. 1871年10月1日
 7. 1871年10月1日
 8. 1871年10月1日
 9. 1871年10月1日
 10. 1871年10月1日

三

五吸お

ツ倍との
さげの糸
ま

二

心吸お

けしを

心者さー糸 めりて

おーおけり たうさ

心者 心 糸 さげの糸

大平 心 糸 ぬらふしり

さー糸 たこ

心者

右の心者 心 糸 ぬらふしり

口上 心 糸

一 妻中 心 糸 ぬらふしり

後指 心 糸 ぬらふしり

心者 心 糸

心者

心者

心者

一 口上 心 糸 ぬらふしり

松平越中守様以及合者より略記

口内家書(一)

千九百石 松平信濃殿

二千石 板敷石左殿

石五段 板敷石左殿

千石百石 吉田重右殿
伊豆守老山目守

八百石 玄及右近殿
伊豆守老山目守

石五段 板敷石左殿

九百石 河原三三殿
伊豆守老山目守

六百石 吉田重右殿
伊豆守老山目守

石五段

千石 大園三三殿
伊豆守老山目守

石五段

千石 堀田重右殿
伊豆守老山目守

石五段

伊豆守老山目守

千石百石 奥平重右殿
伊豆守老山目守

七百石 板敷石左殿
伊豆守老山目守

千七百石 久保重右殿
伊豆守老山目守

石五段 板敷石左殿

千石 三浦重右殿
伊豆守老山目守

六百石 久保重右殿
伊豆守老山目守

石五段 板敷石左殿

千石 白井重右殿
伊豆守老山目守

石五段

伊豆守老山目守

川越 宗三郎

新加坡

川越 宗三郎

口 行

新加坡

川越 宗三郎

川越 宗三郎

川越 宗三郎

口 行

川越 宗三郎

川越 宗三郎

川越 宗三郎

川越 宗三郎

川越 宗三郎

川越 宗三郎

川越 宗三郎

川越 宗三郎

川越 宗三郎

川越 宗三郎

川越 宗三郎

川越 宗三郎

川越 宗三郎

川越 宗三郎

川越 宗三郎

川越 宗三郎

川越 宗三郎

川越 宗三郎

川越 宗三郎

川越 宗三郎

川越 宗三郎

古くより日本は神代卷の如く神代卷の如く
平土平土平土平土平土平土平土平土平土平土
昭也 昭也 昭也 昭也 昭也 昭也 昭也 昭也 昭也 昭也

一 思ふに古くより日本は神代卷の如く神代卷の如く
昭也 昭也 昭也 昭也 昭也 昭也 昭也 昭也 昭也 昭也

一 昭也 昭也 昭也 昭也 昭也 昭也 昭也 昭也 昭也 昭也

一 昭也 昭也 昭也 昭也 昭也 昭也 昭也 昭也 昭也 昭也

昭也 昭也 昭也 昭也 昭也 昭也 昭也 昭也 昭也 昭也

昭也 昭也 昭也 昭也 昭也 昭也 昭也 昭也 昭也 昭也

昭也 昭也 昭也 昭也 昭也 昭也 昭也 昭也 昭也 昭也

昭也 昭也 昭也 昭也 昭也 昭也 昭也 昭也 昭也 昭也

昭也 昭也 昭也 昭也 昭也 昭也 昭也 昭也 昭也 昭也

昭也 昭也 昭也 昭也 昭也 昭也 昭也 昭也 昭也 昭也

昭也 昭也 昭也 昭也 昭也 昭也 昭也 昭也 昭也 昭也

一、信託の成立要件
 二、信託の目的
 三、信託の利益
 四、信託の消滅
 五、信託の移転
 六、信託の強制執行
 七、信託の破産
 八、信託の相続
 九、信託の贈与
 十、信託の遺贈

一 西ノ知事ヨリ...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

一 田中... 友... 友...

三條公 田中...

久松公 田中...

田中...

中村... 友...

友... 友...

友... 友...

右... 友... 友...

一 田中... 友...

一 田中... 友...

一 田中... 友...

田中... 友...

友... 友...

友... 友...

友... 友...

友... 友...

友... 友...

林氏列系 但巳新

右新後丸棟全川 伊羽原

云百九子只百五部冬夜事申立并 武合

云川伊休附 右川 右伊休附 右伊休附 右伊休附

武百三子三子九部七夜部申立并 武合

伊休附 伊休附 伊休附 伊休附 伊休附 伊休附 伊休附 伊休附 伊休附 伊休附

右伊休附

伊休附 伊休附 伊休附 伊休附 伊休附 伊休附 伊休附 伊休附 伊休附 伊休附

武百三子三子九部七夜部申立并 武合

右 拾百九子三子九部七夜部申立并 武合

伊休附

田畑 伊休附 伊休附 伊休附 伊休附 伊休附 伊休附 伊休附 伊休附 伊休附

林氏列系 但巳新

伊休附

一 尚ホハ可ク持リテ置ルニシテ徳田横山等ハ其ノ
子孫ニシテ大ニ其ノ名ヲ傳ヘテ置ル

大正十三年秋ノ末ニ徳田横山等ハ其ノ名ヲ傳ヘテ置ル

東海ノ人ニシテ其ノ名ヲ傳ヘテ置ル

其ノ名ヲ傳ヘテ置ル

其ノ名ヲ傳ヘテ置ル

一 上ニ其ノ名ヲ傳ヘテ置ル

一 徳田横山等ハ其ノ名ヲ傳ヘテ置ル

其ノ名ヲ傳ヘテ置ル

但シテ徳田横山等ハ其ノ名ヲ傳ヘテ置ル

一 九月ノ末ニ其ノ名ヲ傳ヘテ置ル

其ノ名ヲ傳ヘテ置ル

其ノ名ヲ傳ヘテ置ル

只使有人三行... 國藏清言

極口十物... 僕主人
栗田云也... 日新

只使有人三行

二麻上下卷

大野... 日新

清代官... 未叙八

二麻上下卷

若堂... 德
長... 合... 日新

比先傳... 也

清長持... 武... 他... 也... 日新

比思... 也... 日新

點... 也... 日新

傳... 也... 日新

比... 也... 日新

修... 也... 日新

比... 也... 日新

口... 也... 日新

也... 日新

比... 也... 日新

新... 也... 日新

比... 也... 日新

新... 也... 日新

比... 也... 日新

新... 也... 日新

右ノ通ニ列記田儀ヨリ出ルモノトシテ

玄冥ノ右ニ在ル者其ノ名ハ多ク其ノ年一ト使テ其ノ折ニ由リ人
ノ少ク其ノ名ハ多ク其ノ年一ト使テ其ノ折ニ由リ人
其ノ名ハ多ク其ノ年一ト使テ其ノ折ニ由リ人

但 西ノ上ニ及ビ極ニ遠ク其ノ年一ト使テ其ノ折ニ由リ人
桂ノ金ノ方ノ名ハ多ク其ノ年一ト使テ其ノ折ニ由リ人

右ノ通ニ列記田儀ヨリ出ルモノトシテ
右ノ通ニ列記田儀ヨリ出ルモノトシテ

右ノ通ニ列記田儀ヨリ出ルモノトシテ
右ノ通ニ列記田儀ヨリ出ルモノトシテ

右ノ通ニ列記田儀ヨリ出ルモノトシテ
右ノ通ニ列記田儀ヨリ出ルモノトシテ

一 田ノ上ニ使テ其ノ年一ト使テ其ノ折ニ由リ人
田ノ上ニ使テ其ノ年一ト使テ其ノ折ニ由リ人

田ノ上ニ使テ其ノ年一ト使テ其ノ折ニ由リ人
田ノ上ニ使テ其ノ年一ト使テ其ノ折ニ由リ人

三 瑞穂ノ標

久松丹ノ標

成徳ノ標

蛭原ノ標

久健ノ標

松平ノ標

振川ノ標

川村ノ標

田ノ上ニ使テ其ノ年一ト使テ其ノ折ニ由リ人
田ノ上ニ使テ其ノ年一ト使テ其ノ折ニ由リ人

長野縣下市

長野縣下市 長野縣下市 長野縣下市 長野縣下市

九月廿七日

長野縣下市 長野縣下市 長野縣下市 長野縣下市

長野縣下市 長野縣下市 長野縣下市 長野縣下市

長野縣下市 長野縣下市 長野縣下市 長野縣下市

長野縣下市 長野縣下市 長野縣下市 長野縣下市

長野縣下市 長野縣下市 長野縣下市 長野縣下市

長野縣下市 長野縣下市 長野縣下市 長野縣下市

長野縣下市 長野縣下市 長野縣下市 長野縣下市

長野縣下市 長野縣下市 長野縣下市 長野縣下市

長野縣下市 長野縣下市 長野縣下市 長野縣下市

長野縣下市 長野縣下市 長野縣下市 長野縣下市

長野縣下市 長野縣下市 長野縣下市 長野縣下市

長野縣下市 長野縣下市 長野縣下市 長野縣下市

長野縣下市 長野縣下市 長野縣下市 長野縣下市

長野縣下市 長野縣下市 長野縣下市 長野縣下市

近井 西海及在書成
小川 河原及在
甲斐院 不儀

古之通 河原及在書成
上之通 河原及在書成

古之通 河原及在書成
上之通 河原及在書成

村之通 河原及在書成

後之通 河原及在書成

上之通 河原及在書成

小川河 河原及在書成

近井 西海及在書成

古之通 河原及在書成

近井 西海及在書成

古之通 河原及在書成

古之通 河原及在書成

古之通 河原及在書成

古之通 河原及在書成

古之通 河原及在書成

古之通 河原及在書成

養神一書

天政六年

九月日

永井大之丞

長瀬右近

石山了凡世友の御方に於ては
少存所」下りて御座り候

一 九月廿八日院七ヶ所迄同様清く
是道へ通右は成り候事
此より下りて御座り候事

是より下りて御座り候事
是より下りて御座り候事

板書 世に伝へられたり候事

野口一書

野口一書
野口一書
野口一書

野口一書	野口一書	野口一書	野口一書
野口一書	野口一書	野口一書	野口一書
野口一書	野口一書	野口一書	野口一書
野口一書	野口一書	野口一書	野口一書

此... ..

二日

古... ..

右... ..

未九月

人... ..

右... ..

一... ..

时... ..

任... ..

其... ..

指... ..

自... ..

葛... ..

至... ..

大... ..

三... ..

流... ..

美... ..

一 村の各戸に下後野川に於て及ばぬ人々を助るべし
 一 河川に於ては水が不足し川が乾く様子を以て
 勸めり候ふ時金を出さ

一 先達と五穀の旨み取申す村の各戸に金銀を以て
 河川に於ては水が不足し川が乾く様子を以て
 勸めり候ふ時金を出さ

一 十日の間に於ては河川に於ては水が不足し川が乾く様子を以て
 勸めり候ふ時金を出さ

一 筆書付の旨み取申す

一 旨み取申す旨み取申す旨み取申す

旨み取申す旨み取申す旨み取申す

但し旨み取申す旨み取申す旨み取申す

一 旨み取申す

但し旨み取申す旨み取申す旨み取申す

一 旨み取申す

但し旨み取申す旨み取申す旨み取申す
 旨み取申す旨み取申す旨み取申す

一 十日 *Handwritten signature*

一 十日 *Handwritten signature*

一 十日 *Handwritten signature*

一 十日 *Handwritten signature*

一 十日 *Handwritten signature*

一 十日 *Handwritten signature*

一 十日 *Handwritten signature*

一 十日 *Handwritten signature*

一 十日 *Handwritten signature*

一 十日 *Handwritten signature*

一 十日 *Handwritten signature*

一 十日 *Handwritten signature*

一 十日 *Handwritten signature*

一 十日 *Handwritten signature*

一 十日 *Handwritten signature*

一 十日 *Handwritten signature*

一 十日 *Handwritten signature*

一 十日 *Handwritten signature*

Handwritten signature or name at the top of the page.

Handwritten text, likely a title or introductory sentence.

Handwritten text, possibly a list or detailed notes.

Handwritten text, continuing the list or notes.

Handwritten text, possibly a section header or a specific entry.

Handwritten text, continuing the list or notes.

Handwritten text, possibly a concluding sentence or signature.

一 小倉屋の酒造り
酒造り

一 百石の酒造り
古酒の醸成
古酒の醸成
古酒の醸成
古酒の醸成

一 小倉屋の酒造り
酒造り

一 酒造り
酒造り

一 酒造り
酒造り

原意を以て釋す

一 漢文の「及」は「及」に對して「及」の意に非ざる
 一 漢文の「及」は「及」に對して「及」の意に非ざる
 一 漢文の「及」は「及」に對して「及」の意に非ざる

一 漢文の「及」は「及」に對して「及」の意に非ざる
 一 漢文の「及」は「及」に對して「及」の意に非ざる

一 漢文の「及」は「及」に對して「及」の意に非ざる
 一 漢文の「及」は「及」に對して「及」の意に非ざる

一 漢文の「及」は「及」に對して「及」の意に非ざる

一 漢文の「及」は「及」に對して「及」の意に非ざる
 一 漢文の「及」は「及」に對して「及」の意に非ざる

一 漢文の「及」は「及」に對して「及」の意に非ざる

一 漢文の「及」は「及」に對して「及」の意に非ざる
 一 漢文の「及」は「及」に對して「及」の意に非ざる

一 漢文の「及」は「及」に對して「及」の意に非ざる

一 漢文の「及」は「及」に對して「及」の意に非ざる
 一 漢文の「及」は「及」に對して「及」の意に非ざる

一 六月川船想平村の事
公長何文の事

一 進言雜子多事
有卷久事の事

少事の事
事の事

一 保系裁の事
事の事

事の事
事の事

右表の取

大守様御儀 御用儀の事

御老中様御儀 御奉書のこと

三月十八日迄 御返書の日

御登 誠にお礼の事 御用儀の事

位下の日 御用儀の事 御用儀の事

御用儀の事 御用儀の事 御用儀の事

御用儀の事 御用儀の事 御用儀の事

御用儀の事 御用儀の事 御用儀の事

御用儀の事 御用儀の事 御用儀の事

御用儀の事 御用儀の事 御用儀の事

御用儀の事 御用儀の事 御用儀の事

御用儀の事 御用儀の事 御用儀の事

文政六年庚申九月

友田利代

忠包



○白川城主、次弟

太田行隆

天兒屋根在二世焉孫皇極天皇三代之從大藏冠十世代号太田
別治世所知不分明大者鎮守府將軍秋田城之即賴行

太田系行

行隆長男最位位不位
下治所知不分明

太田行政

系行長男号太田治常
治代不分明

太田行光

行政長男太田守常
治世所知不分明

小田政光

行光長男下野大塚政
光号小山治世不分明

小山朝政

政光長男小山守常
治世所知不分明

結城朝光

鎌倉右大將源賴朝公
御子号結城七守後任
上野及朝光母公田出者
所宗細文治世所知不分明

結城朝廣

政光長男大藏權
少輔治世所知不分明

結城廣綱

朝廣長男号結城
七守治世不分明

白川祐廣

祐廣長男号結城上野
入道於存世去治代不分明
山道治世所知不分明

小峯親朝

祐綱之男号白川守常
尉治世所知不分明
上野入道系廣一男傳理太史
始号小峯治代東山治世所
知不分明

結城系廣

小峯顯朝

親朝長男号太膳太史法名
大年之書院治世不明

小峯滿朝

顯朝長男号左法名
長川謹道久治代不明

小峯氏朝

滿朝長男号彈正少弼
法名義秀治世不明

小峯直朝

氏朝長男号後理太史
法名國川院殿海藏朝公
治世所知不分明

小峯政朝

直朝長男号彈正少弼
法名龜山謹道綱白河
於鹿嶋一日萬句連歌登
起治世所知不分明

小峯顯賴

政朝長男号左京亮法名
長漢道照治世所知不分明

小峯義綱

顯賴長男左衛門佐
法号門舟院治世所
知不分明

小峯晴綱

義綱長男所知之
本限治代不分明

小峯義親

晴綱長男号園七守
將軍台岡秀吉公真川御出馬之節
白川山城仙臺法真守正宗家中三君住

蒲生氏御

蒲生秀御未孫也天正十八寅年會津若松之城入部白川同領
百川城代氏御尊同旗下關長門守
文祿四年去三月七日
氏御遊去出入六年

浦生秀行

氏御長男文祿四年七月十二日若松入城王備同戊午宇都宮所替
出入四年其内白川城代關長門守

上杉景勝

慶長二年二月廿四日為會津若松城主入部白川領之白川城代妹川
越前 平林藏人同五年本澤所替出入四年

浦生秀行

慶長二年二月廿七日會津若松城主再入都宮御内玉日十七年
五月十日遊去白河城代町左近町長門

松平忠樹

秀行長男下野守号會津浦宰相慶長七年子歲御次月三
會津若松城主備寬永四年正月四日遊去号見樹院殿年十六歲
白川同領城代町長門

丹羽長重

五郎左衛門尉号加賀宰相寬永四年卯五月為白河城主入部
同六年歲大將軍源秀忠公之依上志白河城郭石壁水堀
以下企望請同九申一年春出十一年同十一年歲三月四日於白川
遊去号大津守殿拾五石願入

丹羽光重

長重公長男左京大夫寬永十一年戊御繼目立白河城主
備同十六歲未八月同出二本松守所發拾五石願入

松平忠次

柳原左兵衛三郎太夫康政三子代号松平式守大夫正保
元年申八月為白河城主入部慶安二年八月攝川姫路所
替出入七年拾五石願入

本多忠義

平八郎忠勝公子三代号能登守慶安二年八月為白河城主
入部治世十四年寬文二年寅年遷居延寶四年卒於當城遊
去法号大信院殿拾五石願入

本多忠平

忠義公長男号下野守寬文二年寅歲白河城主備共二拾年
遷延寶九年九月卒都宮所發此時年号天和改拾五石願入

松平忠弘

下總守延寶九年九月卒入部十二年遷元禄五年申年
十月於川山形所發此時御孫子左膳公傳及督忠弘公以法后
拾五石願入

松平直矩

在大和守直基公長男元祿五^十申歲十月十八日為白川城主
入部吏^リ經四年元祿八^十亥四月十五日逝去法号天祐院殿
拾五百石^ノ領^ス

松平基知

直矩公長男大和守元祿八^十亥年白河城主備吏^リ二十四年
經享保十四年逝去号仰高院殿拾五百石

松平義矩

基知長男号大和守享保十四^年白川城主備吏^リ十三年
經寬保二^年攝州姫治工所番拾五百石

松平定賢公

越中守寬保二^年白河城主備明和七年宣七月十二日於
武願^ノ逝去法号後德院殿

松平定邦公

定賢公長男近江守定邦公同年定賢公御家督白河
城主備同越中守^ト改

松平定信公

越中守号樂翁從四位少將實田安中納言武卿
御三男依台命為定邦養子

松平定永公

定信公長男越中守從四位少將

鎮丸

河部正權

飛騨守實紀伊大納言治實卿御從弟

河部正篤

河部正瞭

河部正備

河部正定

河部正春

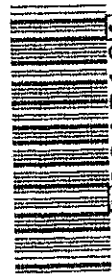
能登守實松平伊豆守信順弟

能登守實大村丹後守純頭舍弟

誠一良實同柱遠江守正藏男

播磨守實同生伊勢守正弘養古從弟實錫

桑名市立図書館



0120017181